

## 定期報告(ウルグアイ内政・外交:2019年11月)

### 1 概要

#### 【内政】

- 7日、アンデス開発公社(CAF)ラテンアメリカ開発銀行は、ラテンアメリカにおける汚職と透明性に関する年次報告書を発表した。
- 13日、大統領選挙決選投票に向けたテレビ討論がマルティネス候補(FA)とラカジェ・ポウ候補(国民党)の間で行われた。
- 24日、大統領選挙決選投票が行われた。ラカジェ・ポウ候補及びマルティネス候補の得票差が少なく、選挙裁判所が当日勝利者を発表できないほどの接戦となった。両候補とも、選挙裁判所の最終結果発表を待つよう呼びかけた。
- 28日、選挙裁判所が全19県中13県における再集計作業を終え、ラカジェ・ポウ候補の勝利が確実となった。
- 30日、選挙裁判所による決選投票の最終的な開票結果は、ラカジェ・ポウ候補(国民党)1,152,271票(48.8%)、マルティネス候補(FA(拡大戦線))1,189,313票(47.4%)となり、ラカジェ・ポウ大統領候補とベアトリス・アルヒモン副大統領候補が次期大統領・副大統領として選出された。大統領就任式は2020年3月1日。
- 国民党は5政党から成る連立政権によって上院17議席、下院56議席を占め、議席過半数を達成する。

#### 【外交】

- 10月28日～11月18日にかけて、ベネツチ農牧水産大臣らは、アジア地域での製品の販売促進のため、中国、モンゴル、ベトナムを訪問した。
- 4日～6日、世界のデジタル政府の主要国であるD9サミットがモンテビデオで開催された。ウルグアイは現在議長国。
- 10日～20日にかけて、ウルグアイ政府は、選挙後のボリビア情勢に関するプレスリリースを発売した。20日、ウルグアイは事実上のボリビア政府に対し、直ちに国民に対する無差別弾圧をやめ、速やかに選挙を実施するよう呼びかける旨の声明を発売した。
- 14日、バスケス大統領はフェルナンデス次期副大統領を迎え、会談した。
- 15日、ニン・ノボア外務大臣はメキシコシティでエブラル・メキシコ外務大臣と会談した。
- 15日、ニン・ノボア外務大臣はメキシコに公務で滞在中、メキシコに亡命中のモラレス前ボリビア大統領と会談した。
- 20日、ウルグアイ・中国間の引き渡し規則に関する二国間条約を承認する法案が議会に提出された。

### 2 本文

#### 【内政】

##### 1 ラテンアメリカにおける汚職指数

7日、アンデス開発公社(CAF)—ラテンアメリカ開発銀行は、ラテンアメリカにおける汚職と透明性に関する年次報告書を発表した。同報告書によると、ウルグアイはラテンアメリカの国及び機関の中で汚職が最も少ない国となった。また、ラテンアメリカで唯一、いずれの企業も賄賂の問題を指摘しなかった。

## 2 大統領候補者によるテレビ討論

13日、大統領候補者による、法律で義務化されて初の討論がマルティネス候補(FA)とラカジェ・ポウ候補(国民党)の間で行われ、全チャンネルで放送された。前回の討論とは異なり、今回の討論では直接意見交換が行われ、「経済発展」、「治安・共生」、「人間開発」及び「国のビジョンと国家の役割」の4つのテーマについて討論が進められた。両候補の討論を報じた番組は、その日最も視聴率が高かった。

## 3 大統領選挙決選投票世論調査

### (1) Cifra社

18日、世論調査機関Cifra社が大統領選挙決選投票直前の投票動向調査結果を公表したところ、予想得票率は以下のとおり。

- ア ラカジェ・ポウ候補(国民党): 47%
- イ マルティネス候補(FA(拡大戦線)): 42%
- ウ 浮動票: 5%
- エ 白票及び無効票: 6%

### (2) Factum社

19日、世論調査機関Factum社が大統領選挙決選投票直前の投票動向調査結果を公表したところ、予想得票率は以下のとおり。

- ア ラカジェ・ポウ候補(国民党): 51%
- イ マルティネス候補(FA(拡大戦線)): 43%
- ウ 白票及び無効票: 6%

### (3) Equipos社

21日、世論調査機関Equipos社が大統領選挙決選投票直前の投票動向調査結果を公表したところ、予想得票率は以下のとおり。

- ア ラカジェ・ポウ候補(国民党): 50%
- イ マルティネス候補(FA(拡大戦線)): 44%
- ウ 白票及び無効票: 6%

### (4) Opcion社

21日、世論調査機関Opcion社が大統領選挙決選投票直前の投票動向調査結果を公表したところ、予想得票率は以下のとおり。

- ア ラカジェ・ポウ候補(国民党): 51%
- イ マルティネス候補(FA(拡大戦線)): 44%
- ウ 白票及び無効票: 5%

### (5) Radar社

21日、世論調査機関Radar社が大統領選挙決選投票直前の投票動向調査結果を公表したところ、予想得票率は以下のとおり。

- ア ラカジェ・ポウ候補(国民党): 48.4%

- イ マルティネス候補(FA(拡大戦線)):43.5%
- ウ 白票及び無効票:4.2%
- エ まだ決めていない:3.9%

#### 4 大統領選挙決選投票

##### (1)決選投票

24日、大統領選挙決選投票が行われた。選挙は極めて平和裡に行われた。ラカジェ・ポウ候補の勝利がほぼ確実となったが、両候補の得票差が即日開票できない「確認を要する票(Votos observados)」の票数よりも少なく、選挙裁判所が当日勝者を発表できないほどの接戦となった。同状況において、両候補とも、選挙裁判所の最終結果発表を待つよう呼びかけた。

##### (2)ラカジェ・ポウ候補の勝利確定

28日、選挙裁判所が全19県中13県における再集計作業を終えた時点で、マルティネス候補がラカジェ・ポウ候補の得票を上回ることが不可能となったため、ラカジェ・ポウ候補の勝利が確実となった。マルティネス候補は、ツイッターを通して、大統領決選投票におけるラカジェ・ポウ候補の勝利を認めた。

##### (3)選挙裁判所による最終的な開票結果の公表

30日、選挙裁判所による決選投票の最終的な開票結果は以下のとおり。

ア ラカジェ・ポウ候補(国民党):1,152,271票(48.8%)

イ マルティネス候補(FA(拡大戦線)):1,189,313票(47.4%)

両候補の得票差は37,042票(1.4%)で、得票差がこれまでに最も少なく、勝者の得票数が投票総数の過半数に満たない初の決選投票となった。

白票は38,024票(1.6%)、無効票は53,193票(2.2%)で、決選投票が始まって以来、最も少ない数値だった。選挙裁判所の正式発表により、ラカジェ・ポウ大統領候補とベアトリス・アルヒモン副大統領候補が次期大統領・副大統領として選出された。大統領就任式は2020年3月1日。

#### 5 各政党の上下院獲得議席数

##### (1)各政党の上院獲得議席数(11月20日付選挙裁判所公表)

ア FA(拡大戦線):13議席

イ 国民党:10議席

ウ コロラド党:4議席

エ カビルド・アビエルト党:3議席

##### (2)各政党の下院獲得議席数(11月22日付選挙裁判所公表)

ア FA(拡大戦線):42議席

イ 国民党:30議席

ウ コロラド党:13議席

エ カビルド・アビエルト党:11議席

オ 独立党:1議席

カ 人々の党:1議席

キ PERI(環境推進派):1議席

### (3)野党連合による上下院議席過半数の達成

国民党はコロラド党,カビルド・アビエルト党,独立党,人々の党と連合を組んでおり,上記5政党から成る連立政権によって上院17議席,下院56議席となり,議席過半数を達成する。

## 【外交】

### 1 ウルグアイ産品のアジア地域における販売促進

10月28日~11月18日にかけて,ベネチチ農牧水産大臣らは,アジア地域での製品の販売促進のため,中国,モンゴル,ベトナムを訪問した。期間中,同農牧水産大臣は,遺伝子組み換えではない食用大豆の輸出や蜂蜜,鳥類,木材などの販売の可能性について協議し,すでに拡大している肉市場に乳製品,果物,蜂蜜の輸出協定を追加するなど,様々な分野で協定を締結した。

### 2 デジタル政府D9サミット

4日~6日,世界のデジタル政府の主要国であるD9サミットがモンテビデオで開催された。ウルグアイは2018年2月に加盟し,現在議長国。現在加盟国は韓国,エストニア,イスラエル,ニュージーランド,イギリス,カナダ,メキシコ,ポルトガル,ウルグアイ。さらにデンマークの加盟が決定し,今後はD10となる。2020年はカナダが議長国をつとめる。

### 3 ボリビア情勢に関する外務省声明

10日,ウルグアイ政府は,ボリビア情勢に関する外務省声明を發出し,ボリビアにおける選挙後の情勢を注視しており,同国で起きている暴力行為に対する遺憾の意を表明した。また,選挙の監査を実施した米州機構(OAS)が,10月20日の選挙結果に関し不正行為を認めたため,選挙の無効及び新しい選挙プロセスの実施が必要がとの報告に留意する旨発表した。

11日,ウルグアイ政府は,ボリビアにおけるクーデターというタイトルで文書を發出し,モラレス大統領を権力の座から追放し,国を混乱と暴力に陥れたボリビアの法支配の崩壊に失望の意を表明した。同国に対し,暴力行為を止め,新たな選挙プロセスを憲法及び同国法律に従って実施するよう訴えた。

18日,ウルグアイ政府は,これまでに少なくとも23名の死者を出したボリビアにおける暴力の増加について深い懸念を表明し,クーデター後に権力を掌握した人々に対し,事態の悪化を避けるため武力の行使を制御し,抑圧を行わないよう再び声明を發出した。

20日,米州機構(OAS)の常任理事会でボリビアでの選挙を求める決議が行われた。ウルグアイは決議案に関しいくつかの修正を提出したが,受け入れられなかったため,投票を棄権した。ウルグアイは事実上のボリビア政府に対し,直ちに国民に対する無差別弾圧をやめ,国連やEUのような信頼できる機構の支援の下,速やかに自由で,透明性が高く信用できる選挙を実施するよう呼びかける旨の声明を發出した。

### 4 バスケス大統領・フェルナンデス次期副大統領との会談

14日,バスケス大統領はフェルナンデス次期副大統領を迎え会談した。

### 5 ニン・ノボア外務大臣,エブラル・メキシコ外務大臣と会談

15日、ニン・ノボア外務大臣はメキシコシティでエブラル・メキシコ外務大臣と会談した。会談は第2回モンテビデオ・メカニズム会議とは別に行われ、ウルグアイ及びメキシコの両外務大臣は、二国間の主要な問題を見直し、二国間に存在する素晴らしいレベルの協調性を確認した。

#### 6 ニン・ノボア外務大臣、前ボリビア大統領との会談

15日、ニン・ノボア外務大臣はメキシコに公務で滞在中、現在メキシコに亡命中のモラレス前ボリビア大統領と会談した。

#### 7 ウルグアイ・中国間の引き渡し法案の議会提出

20日、北京で4月29日に署名された、ウルグアイ・中国間の引き渡し規則が主なテーマになっている二国間条約を承認する法案が議会に提出された。

#### 【要人往来】

##### ○往訪

- 10月28日～11月14日 ベネッチ農牧水産大臣の中国・ベトナム訪問
- 14日～18日 ニン・ノボア外務大臣のメキシコ訪問

##### ○来訪

- 14日 フェルナンデス次期亜大統領
- 28日～29日 アルバラード・コスタリカ大統領

(了)